

水文統計ユーティリティ Ver.1.5 の運用上の注意点

2006/08/15

注意点

雨量データまたは流量データなどの入力データの組み合わせによっては、Ver.1.4 では計算結果が表示されるが、Ver.1.5 では計算結果が表示されないことがある。

原因

Ver.1.4 と Ver.1.5 の違いは、ヒストグラムの表示機能の違いだけであり、計算方法そのものは変わっていませんが、V.1.5 のヒストグラム表示機能の追加に伴い、エラー処理方法に変更が生じたために上記の現象を生じております。

解説

確率水文量の算出にあたっては、確率分布モデル毎に母数を推定した後、SLSC や COR、対数尤度関数、AIC といった適合度を判定しています。

このうち、対数尤度関数、AIC については、その算出に確率密度関数を用いることから、関数が求められない場合（特に、確率密度関数に 関数を用いるもの）、Ver.1.4 では、対数尤度関数、AIC のみを空欄にして、結果表示するようになっています。

しかし、Ver.1.5 では、ヒストグラムと確率密度関数をグラフに描画させる機能を追加したために、確率密度関数が計算されずグラフが描画できない場合、計算されている確率水文量も含めて一切表示をしないというエラー処理を行ったことが原因となっています。

対応策

今後配布する予定である Ver.1.5.2 については、計算された値については表示するように変更をしておりますので、Ver.1.4 で表示されていた確率分布モデルが表示されなくなるといった現象は解決される予定です。リリース予定は 2006/08 下旬を目処にしています。

以上